

数値に見る 福島は今

福島第一原発事故の影響が残る被災地で、庭先に咲く花やバス停といった身の回りの風景に線量計の数値を写し込んだ写真を集めた「福島 可視化展 ベクレルとシーベルト時々グレイ」が大阪市西成区で開かれている。見えない放射能の影響が数値化されることで、浮き彫りになる重い現実を伝えている。

西成区で「可視化展」

撮影したのは、福島市で農業を営みながら芸術活動をしている丹治博志さん(66)と、福島県飯舘村で放射能汚染の調査に取り組み佐川ようこさん(34)で、この1年間に撮った写真約60点を展示する。

「かたくりの花」は丹治さんが4月8日、自宅から約3キロの里山で撮影したもので、薄い紫色の小さな花とともに写る線量計は毎時0.958マイクロシーベルトを示す。佐川さんが2月に同市渡利地区の閑静な住宅街で撮影した写真では0.656マイクロシーベルトを記録。今回の会場で測ると、数値は1桁小さかった。

写真展のきっかけは、昨夏に出会った、原発事故の被災地を撮り続けている東大阪市北石切町のドイツ人写真家、ベアトラム・シラーさん(37)の一言だった。

丹治さんは「目に見えない放射能の影響は忘れた方が楽だが、その現実をいつも自分に気付かせるようにしたい」と考え、昨春から、線量計の数値とともに身近なものをカメラに収めていた。

写真60点 風景に線量計写し込む

写真を見せられたシラーさんは、日常生活に潜む原発事故の影響の大きさを知る作品と高く評価。同様の写真を撮る佐川さんと2人で大阪で展示会を開くことを提案し、実現した。

シラーさんは「きれいな花の周りにも放射能がある。そこで今も生きる人たちがいることを忘れないようにしたい」と話す。

写真展は「ギャラリー見る倉庫」(西成区岸里東1丁目)で24日まで開かれている。問い合わせは同ギャラリー(06・6656・1280)へ。(大宮司聡)

旧国鉄最後の制服 JR西日本に贈る

故橋本元首相の所蔵品 故・橋本龍太郎元首相が所蔵していた旧国鉄最後の制服と電車のトレインマーカー



海遊館の大型水槽に搬入直後のタイワン イトマキエイ。大阪府港区 海遊館提供

高知から搬送後 エイ死亡 海遊館

大阪市港区の海遊館は20日、展示のため高知県土佐清水市から約9時間かけて大型トラックで搬入した「タイワンイトマキエイ」が同日未明に死亡したと発表した。長距離輸送の成功例がなく、展示が実現すれば国内初だった。現在、死因を調査中だが、担当者は「疲れが原因の可能性がある」と話している。死亡したのは横幅約3メートルの大型のエイで、インド洋や太平洋で発見例があるが、詳しい生態はわかっていない。2013年に土佐清水市沖で定置



故・橋本龍太郎元首相所蔵の旧国鉄の制服とトレインマーカー。妻の久美子さん(右)からJR西日本の真鍋精志社長に寄贈された。大阪府北区

蒸気機関車の汽笛を鳴らして新会社の出発を告げた。寄贈したのはその制服と、当時首都圏の電車の先頭に付いていた「さようなら 日本国有鉄道」のトレインマーク。岡山県総社市の旧自宅で遺品を整理していた元秘書の片岡聡一・総社市長が発見したという。久美子さんは「愛するボリスカウトや、海上保安庁など仕事関係の制服をよかったです、合わない自分分でオーダーするほど制服を愛していた」。寄贈する国鉄制服を見て、「袖を通した橋本がうれしそうに出かけるのを私が見送ったの思い出」と述べた。

JR西の真鍋精志社長は「2年後に完成する京都鉄道博物館では、鉄道の歴史を解説するコーナーに展示を検討したい」と述べた。(柳谷政人)

喬に



積極的に 文才提供

側を「表日本」と呼ばないですか。では「裏日本」と呼ぶアジア大陸側が玄そのことを僕らは知れてしまっている。アジア大陸へ橋をかアの人たちと音楽いしていく、そんなのが自分の一つのはと、その時に漠した。の国には主義主張けど、自分の体験、音楽はすべてを乗り越える素晴ら。アジアの国々で薬はわからないけんでは、たくさ。理屈ではな。それ。一つ。な。と思いますね。

みつとくし語りつくし

音楽家 谷村 新司さん (65)

39

友梨さん行方不明11年 最後の目撃現場で 情報提供求め検問 熊取町で2003年、当時小学4年生だった吉川友梨さん(20)が行方不明になつて20日で11年。府警は友

府代表決まる

消息を絶った。この日は捜査員ら約20人が、行方不明になった時間帯に合わせて午後2時半から1時間、通りかかった車やバイク約80